

部 局	消防局	補 職	消防局長	氏 名	小倉 博
-----	-----	-----	------	-----	------

## 1. 部局の使命

市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害や事故等から保護するため、火災または地震等の災害による被害を軽減するほか、市民、事業者、医療機関との連携による「救命力」の向上や広域連携、消防体制の見直しによる消防力の強化を図り、安心して安全なまちづくりを推進します。

## 2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>(1) 消防局は、応急対策を中心とした防災を担う行政機関として、消防車両や消防水利などの防災基盤の整備を図り、消防力の確保と救命力世界一の推進など、豊中市にふさわしい市民サービスが提供できるよう取り組みます。</p> <p>(2) 火災予防体制の充実と自主救護能力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>(3) 上記取り組みを効果的に実現するため、消防の広域連携及び人材育成に関する取り組みを推進します。</p>	<p>○防災基盤の整備として消防車両等の更新整備を計画に沿って進めました。  *高規格救急自動車 2台 *災害対応特殊化学車 1台  *小型動力ポンプ積載車(庄内西分団洲到止班) 1台  *小型動力ポンプ(B3級・台車付) 2台 *小型動力ポンプ(C1級) 1台  *耐震性貯水槽設置(少路1-15 羽鷹池公園) 60立方メートル 1基</p> <p>○救急救命体制の強化については、応急手当率向上のため、シニア救命講習を行いました。  *シニア救命講習受講者数212人 *救急タグ配布枚数687枚累計7,183枚  *ジュニア救命サポーター事業実施小学校数 27校2,505人  *救命講習受講者数 18,082人</p> <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上については、住宅防火対策や防火対象物の違反是正の強化を図るとともに、自主防災組織や消防防災協力事業所等の訓練支援を行い、災害に強いまちづくりを推進しました。  *自主防災組織への訓練指導数 77組織3,934人に実施(実施率47.5%)  *消防防災協力事業所に対する訓練指導数 63事業所114名</p> <p>○消防の広域連携については、池田市との消防指令業務の共同運用と能勢町消防事務の受託業務を遂行するとともに、豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市による指令業務共同運用について、協議会で指令情報システム構築業務の事業者を選定し構築を進めたほか、運用規程の整備、警防作戦室の運用について検討しました。また、近隣市町との広域連携についても検討を進めました。</p> <p>○総括として、「市民力」「地域力」を消防資源として取り込みながら消防行政を推進し、市の防災基盤及び消防体制の強化を図りました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の変更や中止を行いました。が、消防署開放デーや消防出初式、防火防災フェスティバル等においては、数多くの市民の来場のもと、効果的な消防広報を積極的に実施したことにより、概ね取り組み方針に沿った事業を遂行できました。</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>消防の広域連携の推進</p> <p>(1) 池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町消防事務の受託について、計画等に基づき業務を遂行するとともに、近隣市町と消防の広域連携について検討を進めます。これにより、相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全を向上させます。</p> <p>①計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理(通年)</p> <p>②近隣市町と消防広域連携について検討(通年)</p> <p>(2) 豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会において、令和6年(2024年)4月からの消防指令業務共同運用に向けて具体的な検討を進めます。</p> <p>①財政面、人員面等の詳細について関係部局と調整(通年)</p> <p>②広域消防指令情報システム構築業務プロポーザル選定委員会及び評価部会にて審査を行い、構築業者を決定(6月)</p> <p>・構築業者と本契約(10月)、コンサルティング業者と構築監理業務の契約締結(10月)を行い、構築完了まで機器仕様及び機能詳細内容を決定</p>	<p>○計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理</p> <p>*池田市との消防指令業務連絡会(8月(臨時)、12月)</p> <p>*能勢町との消防事務の受託に関する定期協議(8月・2月)</p> <p>○豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市の5市での消防指令業務共同運用の検討</p> <p>*5市消防通信指令事務協議会(9月、12月、1月)</p> <p>*5市消防通信指令事務協議会幹事会(5月、7月、2月)</p> <p>*5市消防通信指令事務協議会システム整備委員会(計6回)</p> <p>*広域消防指令情報システム構築業務プロポーザル(6月)</p> <p>*協議会事務局の吹田市により構築業者と本契約(9月)</p> <p>*広域消防指令情報システム構築業務打合せ(計53回)</p> <p>※5市消防通信指令事務協議会の正式名称は豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会です。</p>	<p>○計画等に沿って、池田市との消防指令業務の共同運用及び能勢町の消防事務を実施します。</p> <p>○5市での消防指令業務の共同運用について、令和6年(2024年)4月からの運用開始に向けて、引き続きシステムの構築、運用規程等の整備を進めます。</p> <p>○近隣市町と広域連携について検討を進めます。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>23 消防救急体制の強化</p>	68	広域連携の推進

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>「救命力世界一」の取り組みの推進</p> <p>(1) ジュニア救命講習の全校実施に向けた取組みや、救命講習にeラーニングを活用し、受講しやすい環境作りを進め、地域に根ざした応急手当普及啓発活動を展開することにより救命手当の一層の普及に取り組む、市民の救命力を高めます。</p> <p>①ジュニア救命サポーター事業(通年)</p> <p>②市民救命サポーター制度(通年)</p> <p>③シニア救命講習実施の検討(4~6月)</p> <p>(2) 救急需要対策を推進します。</p> <p>①救急安心センターおおさかの利用率向上の取組み(通年)</p> <p>②救急タグの普及啓発(通年)</p> <p>(3) 救急隊員の教育体制の充実</p> <p>①指導救命士の指導体制の確立(通年)</p> <p>②研修体制の充実(通年)</p> <p>(4) 「119救命サポートチーム」を中心に、119番通報に対する心肺蘇生法などの口頭指導体制の充実強化を行い、救命力の向上をめざします。</p> <p>①口頭指導プロトコル※の実施等(通年)</p> <p>※口頭指導プロトコル</p> <p>119番通報等救急要請受信時に、救急現場付近にある者に、電話等で応急手当の協力を依頼し、口頭で応急手当の指導を行う手順のことで</p> <p>②映像通報システム「Live119」の積極的な活用(通年)</p>	<p>○ジュニア救命サポーター事業</p> <p>*ジュニア救命講習実施校 27校</p> <p>2,505人</p> <p>○市民救命サポーター制度の実施</p> <p>*市民救命サポーター・ステーション認定事業所数 186事業所</p> <p>*市民救命サポーター・ほーむ登録者数 4,355人</p> <p>○シニア救命講習受講者数 11回</p> <p>212人</p> <p>○救急需要対策</p> <p>*救急安心センターおおさか医療相談件数 16,754件(令和3年度: 15,197件)</p> <p>*救急タグ配布実績 687枚・活用実績 73件</p> <p>累計配布実績 7,183枚 累計活用実績 126件(令和元年1月~)</p> <p>○口頭指導プロトコルの実施等</p> <p>*指令員に対し、119番通報の内容から、重症度・緊急度の判定を的確に判断するため、救急救命士が中心となって様々な状況に応じた聴取方法の研修を実施</p> <p>*口頭指導技法研修会(10月、2回 15人)</p> <p>○映像通報システム「Live119」の積極的な活用</p> <p>*映像通報システム使用実績(111件)</p> <p>*映像通報システム広報動画の作成</p>	<p>○教育委員会、各小学校と緊密な連携を図り、ジュニア救命講習の市内全小学校実施に向け取り組みを進めます。</p> <p>○心肺停止の約65%が自宅で発生しているため、自宅での心肺蘇生法の流れを講習に盛り込みます。</p> <p>○心肺停止事案の約80%が高齢者であり、救急現場に居合わせた人による心肺蘇生により、社会復帰が増加することから、シニア救命講習の受講を促します。</p> <p>○「救急タグ」「救急安心センターおおさか」の広報</p> <p>○「119救命サポートチーム」を中心とした口頭指導体制の充実強化を図ります。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
<b>基本政策</b>			
23	消防救急体制の強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域防災力の育成による自主救護能力の向上</p> <p>(1) 自主防災組織や消防防災協力事業所への、消火・救急・救助などの訓練について、防災訓練ハンドブックやWEB等での発信を効果的に活用して訓練指導を行います。身に付けた技術を組織や事業所に広めていただくことにより、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。</p> <p>消防防災協力事業所の訓練については100事業所への実施、自主防災組織への訓練については、実施率60%を目指します。</p> <p>感染症まん延状況によっては参加人員を調整するなど、感染防止を徹底したうえで実施します。</p> <p>①自主防災組織に対する防災訓練や指導(通年)</p> <p>②消防防災協力事業所の育成支援(通年)</p> <p>※ 『防災訓練ハンドブック』とは、大規模災害時の応急活動のうち、代表的な①初期消火、②救助救出、③搬送法、止血法等を取り上げ、地域の住民、事業所が、身近にある資機材を用いた応急活動の実施方法を学ぶために、令和2年度に作成したもので、令和3年度から、自主防災組織、消防防災協力事業所に対する訓練で活用しています。本ハンドブックには二次元コードを付しており、読み込むと各訓練動作を動画で視聴でき、訓練後の復習や教養に活用できます。</p>	<p>○自主防災組織に対する訓練の実施 *77組織3,934人に訓練指導実施(実施率47.5%)</p> <p>*自主防災組織合同研修会(北消防署10月、新千里消防署12月)</p> <p>○消防防災協力事業所の育成支援 *合同防災研修会(10月、12月、3月)63事業所114名に実施</p> <p>*防災訓練ハンドブックを活用した自主訓練実施事業所 19事業所 326名が実施(登録事業所数310事業所)</p> <p>○防災訓練ハンドブック活用した自主防災組織、消防防災協力事業所に対する効果的な訓練の実施</p>	<p>○感染症等のまん延時の対策など、今後も柔軟に自主防災組織への消防訓練指導や消防防災協力事業所への育成支援を行います。</p> <p>○自主防災組織、消防防災協力事業所への積極的な訓練の勧奨、指導を行います。</p> <p>○市内事業所へ消防防災協力事業所への登録を呼びかけ、地域防災力の向上を図ります。</p> <p>○防災訓練ハンドブックを効果的に活用し、自主防災組織、消防防災協力事業所の防災に関する知識、技術を深め、自主救護能力の向上を図ります。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>22 地域防災力の向上</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	<p>警防体制の強化</p> <p>(1) 「指揮調査隊」による現場指揮体制の充実強化を図るとともに、「特別消火隊」を中心とした消火技術の向上や「高度救助隊」を中心とした救助技術の向上、「特殊災害対策専門班」による大規模イベント等におけるテロ災害等、特殊災害への対応力強化のため、部内研修や想定訓練などを充実させることにより、警防体制を強化します。  なお、上記の研修や訓練については、感染防止を徹底したうえで実施します。</p> <p>①指揮調査隊による各種訓練の企画・実施(通年)  ②指揮調査隊による調査業務の充実強化(通年)  ③特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究や訓練(通年)  ④高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練(通年)  ⑤特殊災害対策専門班による部内研修や訓練(通年)</p> <p>(2) 消防力を強化するためICTの活用を検討  ①協定締結企業との災害時におけるICT活用(通年)  ②ICTを活用した現場情報共有方法の検討(通年)</p>	<p>○指揮調査隊による各種訓練の企画実施  *はしご車操法技術錬成会(5月)  *指揮調査隊教養研修・訓練  *実戦ポンプ操法大会(2月)</p> <p>○火災原因調査規程等の改正等</p> <p>○特別消火隊による指導及び消火技術向上のための研究や訓練の実施  *CAFS放水検証(4月)  *実火災体験型訓練(10月)  *火災防ぎょ中隊訓練(12月)</p> <p>○高度救助隊による救助技術向上研修、訓練の実施  *水難救助訓練(5月、9月)  *救助隊合同研修及び訓練(5月、11月)  *土砂災害救出訓練(3月)  *交通事故を想定した実車破壊救助訓練(10~3月)  *国際消防救助隊隊員連携訓練(年度内4回)</p> <p>○特殊災害対策専門班による部内研修や訓練  *水防訓練(4月)  *C災害対応合同訓練(11月)  *大阪国際空港航空機事故対策部分訓練(11月)  *震災対策合同訓練(6月、2月)</p> <p>○消防力を強化するためICT活用を検討  *LIVE119を活用し災害情報共有  *災害対応ドローンの運用方法の検討</p>	<p>○「指揮調査隊」を中心に、現場指揮体制の充実強化を図ります。</p> <p>○「特別消火隊」を中心に、消火技術の向上を図ります。</p> <p>○「高度救助隊」を中心に、救助技術の向上を図ります。</p> <p>○「特殊災害対策専門班」を中心に、特殊災害対応力の強化を図ります。</p> <p>○消防力を強化するため、災害現場でのICT活用を検討します。</p> <p>○災害対応ドローンの運用に向けて、機体、関係資機材等の整備、運用体制の決定及び訓練、教育等を実施します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>防火対策の強化</p> <p>(1) 住宅火災による死傷者をなくすため、高齢者への防火対策を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置、維持管理等の火災予防広報を実施します。また、消防用設備等に係る指導や査察の実施により、防火対象物、危険物施設等の防火安全対策を強化します。</p> <p>① 高齢者に対する火災予防普及啓発(通年)</p> <p>② 住宅用火災警報器設置促進・維持管理に係る広報(通年)</p> <p>③ 消防用設備等に係る建築物の計画の審査及び建築物に設置が義務付けられている消防用設備等の検査(通年)</p> <p>④ 年度査察計画に基づく防火対象物、危険物施設等の査察(通年)</p> <p>⑤ 消防法令違反のある防火対象物等に対する是正指導(通年)</p> <p>⑥ 査察推進員の適正配置等、査察推進施策の実施(通年)</p> <p>⑦ 火災予防条例届出等の窓口適正化(4月)</p> <p>⑧ 予防関係届出等の電子申請、消防用設備等設置に係る事前相談等のICT活用の推進(通年)</p> <p>⑨ 消防音楽隊による火災予防広報(通年)</p> <p>(2) 北・南・新千里消防署による地域に根差したきめ細やかな消防訓練指導や火災予防広報活動を展開し、市域内における火災の未然防止及び火災による被害の軽減を図ります。</p> <p>① 消防署による消防訓練指導や火災予防広報活動(通年)</p> <p>※上記取組みを、消防局ホームページやSNSを活用して行うほか、訓練指導や地域のイベント等については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら実施します。</p>	<p>○ 高齢者防火対策の実施 高齢者福祉施設等にて、防火講話を実施。(5月、60名)</p> <p>○ 住宅用火災警報器設置、維持管理等に係る広報 * 女性防火クラブと連携し住警器設置率調査及び維持管理広報(5月)</p> <p>○ 消防用設備等に係る建築物の計画の審査及び防火対象物等に対する査察の実施 * 北九州市の市場火災発生に伴い、市内商店街・市場4カ所へ特別火災予防広報を実施(4月) * 神戸市共同住宅火災を受け、類似住宅に注意喚起(1月、11対象物) * 査察推進会議・研修の実施による査察推進体制の強化(5月～2月)</p> <p>○ 火災予防広報活動の実施 * 百貨店にて防火講話「千日デパート火災から50年」を実施(5月) * 園児による防火普及啓発動画の作成(11月) * 北消防署・消防訓練場開放消防デー(3月、約500名参加) * 新千里消防署開放デー(11月、約700名参加)、火災予防フェスタ(3月、約500名参加)</p> <p>○ 消防音楽隊による防火広報 出演18回、参加市民数約10,020人 * 豊中防火安全協会主催、市立文化芸術センター開催の「防火・防災フェスティバル」に出演(3月、約1,500名来場)</p>	<p>○ 高齢者への防火対策や市内に訪れる外国人への防火・防災意識の普及啓発を行い、災害による被害の軽減を図ります。</p> <p>○ 住宅用火災警報器の設置、維持管理等、住宅防火に係る広報を行います。</p> <p>○ 防火対象物に対して計画的に査察を実施するとともに、消防法令違反のある防火対象物の違反是正を行うことにより防火対策の強化を図ります。</p> <p>○ 消防局ホームページやSNSを活用した防火広報を行います。</p> <p>○ 消防イベントや消防音楽隊の演奏を通じた防火広報を行います。</p> <p>○ 予防関係届出等の電子申請や消防用設備等設置に係る事前相談等のICT活用を推進します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績		
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性	
6	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 消防局の使命を遂行するため、「豊中市消防局人材育成実施計画」に基づき、職員を育成し、職員個々のレベルアップや士気の高揚を図るとともに、組織としての災害対応力の強化、仕事の質・成果の向上に繋がります。また、適宜必要な研修等について検討を行うなど、効果的な人材育成を実施します。</p> <p>① 新人職員研修・管理職養成研修 (通年)</p> <p>② 職場研修 (通年)</p> <p>③ 研修機関研修 (通年)</p> <p>④ 各種資格取得研修 (通年、資格等取得助成制度の積極的な活用)</p> <p>⑤ 女性消防職員活躍推進の取組み (通年)</p> <p>⑥ 個別の事業、政策課題に対応するための部内プロジェクトチーム等の編成 (適宜)</p> <p>⑦ 優秀職員に対する表彰制度の実施 (定例・随時)</p> <p>⑧ 消防局人材育成実施計画等の改訂 (2～3月)</p> <p>⑨ 豊中市消防計画の改訂 (適宜)</p> <p>(2) 各種研修の実施について、新型コロナウイルス感染症対策として、ICTの活用などデジタル・ガバメントを推進します。</p> <p>① オンライン研修の推進 (通年)</p>	<p>○ 各種研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 部内階層別研修</li> <li>* 各種団体への委託研修</li> <li>* 新人職員研修</li> <li>* 再任用職員の活用</li> <li>* 女性消防職員活躍推進の取組み</li> </ul> <p>○ 事業、政策課題に対応したプロジェクト・チームの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 災害対応ドローン運用プロジェクト・チーム</li> <li>* 防火・防災フェスティバルプロジェクトチーム</li> </ul> <p>○ 優秀職員に対する表彰の実施 (定例・随時)</p> <p>○ 豊中市消防計画の改訂 (3月)</p> <p>○ デジタル・ガバメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* WEB職員採用説明会 (5月、8月)</li> <li>* WEBによる職員研修 (2月)</li> <li>* WEBによる消防本部紹介イベント (3月)</li> </ul>	<p>○ 感染症のまん延やデジタル・ガバメントの推進など、社会情勢の変化に対応した人材育成に関する取組みを推進し、職員の士気高揚、災害対応力の強化を図ります。</p> <p>○ 必要な研修等の選択と集中により効果的な人材育成を行います。</p> <p>○ 市の資格等取得助成制度の積極的な活用などにより、消防活動に必要な資格の取得を図ります。</p> <p>○ より良い人材育成を計画的に実施するため、消防局人材育成実施計画等を適時改正します。</p> <p>○ ハラスメント撲滅、安全運転管理に係る取組みを強化します。</p>	
	<b>総合計画</b>			
	2-3-② 消防体制を充実強化します。			
<b>基本政策</b>				
	23 消防救急体制の強化	65	職員力を高める人材育成等の推進	

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	<p>消防団の充実強化</p> <p>(1) 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき地域に密着した災害活動を実施する消防団の活動を支援し、消防団員の確保の取組みを行うほか、消防団の装備の充実強化を図り、地域の防災力並びに災害対応力を高めます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症まん延時の各種行事の開催については、消防団と連携を図りながら取組みます。</p> <p>①消防団活動の支援(通年)</p> <p>②消防団員の育成支援及び資機材等の整備(通年)</p> <p>③消防団屯所及び車両等の維持管理(通年)</p> <p>④とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛍池分団屯所の建替え工事(上半期着手)</p> <p>⑤消防団員の処遇改善(4月)</p>	<p>○消防団活動の支援</p> <p>*地域安全パトロール等での消防団広報活動</p> <p>*歳末警戒(12月27日～29日)</p> <p>*団員数推移【条例定数575人】</p> <p>4月当初489人→496人(3月1日時点)</p> <p>*消防団員入団促進広報(1月、団員募集ポスターの掲出)</p> <p>○消防団の教育訓練等の実施</p> <p>*指導者養成訓練(4月)</p> <p>*女性消防団員研修、訓練等(4, 9, 12月)</p> <p>*消防学校での教育(5, 6, 10, 11月)</p> <p>*消防団ポンプ操法訓練(7, 8月)</p> <p>*消防局との木造密集地消火活動連携訓練(12～2月)</p> <p>○消防団屯所の整備</p> <p>*蛍池分団屯所の建築・設計業務</p> <p>○消防団機械器具の整備</p> <p>*庄内西分団洲到止班の小型動力ポンプ積載車の整備</p> <p>○消防団員の処遇改善(4月)</p>	<p>○消防団の活動を支援し、消防団の充実強化を図ります。</p> <p>○消防団と消防局との合同訓練を実施し、連携強化を図ります。</p> <p>○老朽化した消防団屯所について、計画に基づき改修等を検討します。</p> <p>○蛍池分団屯所の建替え工事を進めます。</p> <p>○消防団員の入団促進に関する取組みを行います。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-② 消防体制を充実強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>23 消防救急体制の強化</p>	22	地域防災力の向上

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	消防拠点の再整備 (1) 各消防署及び消防出張所について、計画的に必要な改修や設備の更新を行うことにより、防災拠点としての機能強化及び消防活動の充実強化を図ります。 ①消防拠点再整備について関係部局と調整(通年) ②消防庁舎改修について関係部局と調整(通年) ③施設環境の改善(仮眠室、更衣室、トイレ等)(通年)		○消防拠点再整備に係る課題の検討 ○消防庁舎改修について関係部局と調整 ○豊中市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、老朽化した消防庁舎の改修等について検討 ○消防庁舎の施設環境の改善に係る検討	○豊中市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、老朽化した消防庁舎の改修等について検討を進めます。 ○名神高速道路の高架下にある南消防署小曾根出張所の移転について検討を進めます。
	<b>総合計画</b> 2-3-② 消防体制を充実強化します。			
<b>基本政策</b>				
	23	消防救急体制の強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	<p>新型コロナウイルスを含む感染症対策の推進</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症や他の感染症の発生、流行に備え、感染防止管理体制及び関係機関との連絡体制を強化します。</p> <p>①感染防止対策資器材及び施設の整備(通年)</p> <p>②訓練、研修等による知識及び技術の習得(通年)</p> <p>③新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルの検証(通年)</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症等のまん延時における地震等の大規模災害等への対応力を強化します。</p> <p>①部内における訓練、研修等による知識及び技術の習得(通年)</p> <p>②関係機関との連携訓練等への参加(通年)</p>	<p>○職員の新型コロナウイルス感染症等対策の推進</p> <p>*マスク着用、手洗い、手指消毒、咳エチケット、検温などの基本的な感染症対策の徹底、毎日勤務者の時差出勤</p> <p>○施設の感染症対策</p> <p>*来庁者と職員の動線分け</p> <p>*庁舎消毒及び換気の励行</p> <p>○感染症まん延時における対応力の強化</p> <p>*新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルに基づく人員計画の発動(毎日勤務職員による災害対応体制、7/28~9/20)</p> <p>*上記マニュアルの改訂(9月)</p> <p>○救急活動資機材の整備</p> <p>*救急活動に必要な資器材の備蓄</p> <p>○新型コロナウイルス感染症患者搬送件数</p> <p>令和4年度(2022年度)743件、令和3年度(2021年度)524件</p> <p>○感染症予防啓発</p> <p>民間事業者と連携した感染症予防啓発ステッカーによる広報の実施(11~2月)</p>	<p>○新型コロナウイルスを含む感染症対策として、消防庁舎の浴室個室化、非接触型の洗面台等の整備など感染症防止対策を実施します。</p> <p>○改訂した新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルを検証します。</p>
	<p><b>総合計画</b></p> <p>2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。</p>		
	<p><b>基本政策</b></p> <p>23 消防救急体制の強化</p>	16	感染症対策の強化

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
1	<p>ジュニア救命サポーター事業の全小学校での実施</p> <p>(1) ジュニア救命サポーター事業について、毎年市内全小学校(私立小学校含む。)での実施をめざします。これにより、こどもの頃から命の大切さを学ぶとともに、救命手当の必要性を根付かせ救命力の一層の向上を図ります。</p>	<p>(1) 教育委員会や小学校との調整などによる、ジュニア救命サポーター事業の継続的な実施 令和4年(2022年)～</p>	
	<b>総合計画</b>		
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。		
	<b>基本政策</b>		
	23 消防救急体制の強化		
2	<p>近隣市町との消防広域連携の検討</p> <p>(1) 近隣市町と相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全が向上するよう、消防広域連携を推進します。</p> <p>(2) 豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会において、令和6年(2024年)4月からの消防指令業務共同運用に向けて具体的な検討を進めます。</p>	<p>(1) 効率的に消防資源を運用するための消防広域連携の検討 令和4年(2022年)～</p> <p>(2) 豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防指令業務共同運用開始 令和6年(2024年)4月</p>	
	<b>総合計画</b>		
	2-3-② 消防体制を充実強化します。		
	<b>基本政策</b>		
	23 消防救急体制の強化	68	広域連携の推進

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)	
3	<p>市民・事業者との協働の取組みの推進</p> <p>(1) 女性防火クラブ・自主防災組織・消防防災協力事業所の育成支援など、市民・事業者との協働に関する取組みを推進し、南海トラフ巨大地震など大規模災害発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。</p>	<p>(1) 自主救護能力の向上を図る取組みの強化 令和4年(2022年)～</p> <p>(2) 自主防災組織や消防防災協力事業所等の育成支援 令和4年(2022年)～</p>	
	<b>総合計画</b>		
	2-3-① 救急救命体制および防火安全対策を強化します。		
	<b>基本政策</b>		
	22 地域防災力の向上		
4	<p>災害対応力の強化</p> <p>(1) 地震やテロ災害等の大規模災害、増大する救急需要、新型コロナウイルス感染症等への対応力を強化するため、人員体制の効率化を図りつつ、救急救命体制の増強を図るほか、人材育成に関する取組み及び計画的な消防拠点の再整備を進めます。</p>	<p>(1) 人材育成に関する取組みの推進 令和4年(2022年)～</p> <p>(2) 救急救命体制の強化を推進 令和4年(2022年)～</p> <p>(3) 南消防署小曾根出張所の移転等、消防拠点再整備に係る課題の検討 令和4年(2022年)～</p> <p>(4) とよなか起業・チャレンジセンター移転にかかる蛭池分団屯所改築事業 令和5年度(2023年度) 屯所運用開始予定</p> <p>(5) 新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルの検証 令和4年(2022年)～</p>	
	<b>総合計画</b>		
	2-3-② 消防体制を充実強化します。		
	<b>基本政策</b>		
	23 消防救急体制の強化	16	感染症対策の強化
	65 職員力を高める人材育成等の推進		